

(様式3) 研修内容の詳細

※協会認定一次研修の場合、一次研修必要科目に対応する研修科目のみ記載。  
※協会認定二次研修の場合、実施する研修科目を全て記載。

<記載例>

申請団体名:

研修科目名 | 提案型集約化施業とは

区分	協会認定一次研修	達成目標のイメージ	
部門	森林施業	将来の目標林型の設定と適切な間伐の考え方を理解する。	
項目	No6. 目標林型と育林技術①(講義)		
実施日時	9月1日(前期研修1日目)	13:00~14:30	時間数: 90分
研修方法	講義	「講義」「実習」など	場所: △△森林組合会議室
講師名(所属)	□□氏(□□大学 教授)		講師名は必ず記載すること(未定は不可)
講師概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林生態学の研究者。人工林管理についての論文多数。</li> <li>〇〇県で行われたプランナー研修の講師経験がある。</li> </ul>		講師の専門分野や選定理由、業務経験(内部講師の場合)を記載
使用する資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>「森林施業プランナーテキスト基礎編」第2部</li> <li>講師作成資料(パワーポイント・レジュメ)</li> <li>副読本:「林業改良普及双書 間伐と目標林型を考える」(全林協)</li> </ul>		別表1を参照して、「森林施業プランナーテキスト基礎編」の該当箇所は必ず使用すること
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工林における目標林型の設定方法</li> <li>林分の混み方の指標について</li> <li>列状間伐と定性間伐の違いと、実行上の留意点</li> <li>現地実習の進め方のポイント説明</li> </ul>		
備考			

研修科目名 | コスト計算演習

区分	協会認定一次研修	達成目標のイメージ	
部門	管理	利用間伐の事業コスト・売上額の基本構造や収支の算出方法について理解し、適正な施業プランが作成できる知識を習得する。	
項目	No11. 利用間伐とコスト把握・分析		
実施日時	9月2日(前期研修2日目)	15:30~17:00	時間数: 90分
研修方法	講義・実習	場所	△△森林組合会議室
講師名(所属)	〇〇氏(〇〇県 農林水産部 林務課 普及指導係 主任)		
講師概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>AGとして組合の指導経験が豊富であり、准フォレスター研修にも参加している。</li> <li>「間伐生産性・コスト分析シート」を活用して、組合と一緒にコスト把握に取り組んだ経験がある。</li> </ul>		
使用する資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>「森林施業プランナーテキスト基礎編」第5部</li> <li>講師作成パワーポイント</li> <li>「間伐生産性・コスト分析シート」</li> </ul>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林施業に係るコストの考え方について(講義)</li> <li>コスト計算方法の説明(講義)</li> <li>コスト計算実習(実習)</li> <li>「間伐生産性・コスト分析シート」の使い方について(講義)</li> </ul>		
備考	実習中は、講師に加え県森連・県職員が巡回して研修生をサポートする。		